

菅公の学徳仰ぐ献詠祭 三月二十五日執行

歌道は人の心情を奥床しく表現する伝統の文学であり、文学神菅公を祀る天神神社で毎年三月二十五日の勸学祭の縁日にあわせて、献詠祭を執行している。

今年の歌題は五部門共通の「町・街」で献詠され、短歌八十四名、俳句百十名、川柳六十名、狂俳六十四名、俚謡四十三名の歌人が各三歌を奉納、この歌を歌集「好文本」に編集し献詠者に頒布された。

当日この歌集が神前に供えられ各部門の天地人の三歌が、選者によって朗詠奉納された。



各部門天地人の歌は、次の通りである。

短歌の部

天位 高山市 上牧右田子
「おまえ町の子かア」母の在所の川

遊び手拭に目高を掬いて捕りき
地位 関市 加納 文雄

山狭の町の役場の自動ドア草の実付きし地下足袋で開ける
人位 岐阜市 永田 宗利

街の灯を浴びて帰宅のバスを待つ
あの人この人働いた顔

俳句の部
天位 本巣市 神原 景色

春暁の汽笛高鳴る港町
地位 岐阜市 山田素粒子

町角に残る機屋や凍て厳し
人位 岐阜市 渡邊 房子

飛梅の香頭つ此処町一丁目
川柳の部

天位 大垣市 米山 方士
歩道橋渡る子供につなぐ町

地位 岐阜市 山岸 久子
夢がある街に溢れる春の音

人位 各務原市 河合 裕子
追憶の街で昔を引き寄せる

狂俳の部

天位 岐阜市 平光 錦江

町 金華の城が抽ぬきん出る
地位 高山市 斐桜庵卯月

町 古都は碁盤の目に開く
人位 岐阜市 安江 弥生

町 火伏の神の祠置く
俚謡の部

天位 岐阜市 松尾 美峰
祇園寺町鐘から明けて鐘に暮れ行く京の町

地位 安八郡 村瀬 昇一
長良北町天神様に春が来ました

絵馬の音
人位 岐阜市 河野 桂

住めば都のことわざ通り何んと
住み良いおらが町



子供の祭五月の節句 長良幼稚園児の参拝

五月一日、鯉職の手旗を揚げ、子供の節句を祝って、長良幼稚園児童が団体参拝した。

お祓を受け神妙に拝礼を行なった後、可愛い声で鯉のぼりの童謡を合唱、境内の周囲には保護者が愛児を出迎え、愛児の姿を満足気に見守っていた。

最後に園児が「天神様の細道」を歌い乍ら帰るのも、お社柄が偲ばれる一コマである。

伊勢神宮に鮎献上

神社庁行事に参加

岐阜県神社庁の長良川鮎献上の行事が、五月十九日に行なわれ、当神社から次の通り参加随行した。

神職 日比野良和
総代 石原 弘

神宮では神楽殿にて献納祭を執行し、御垣内参拝・直会を行い、丁重に受理された。

